

全卷總目次

『琉球王国評定所文書』全卷総目次

『琉球王国評定所文書』第一巻 一九八八年三月二五日発刊

〔総説〕 評定所文書についての概観 島尻勝太郎（六）

〔付説〕 漂着関係の取締規程について 糸数兼治（一五）

一 唐の慶賀之一巻 1

（康熙二〇九年） 三二号 解題・池宮正治

二 朝鮮人拾老人慶良間島漂着馬艦船を以送越候日記 59

（雍正十一、十二年） 三二〇号 解題・糸数兼治

三 御条書写 127

（雍正元、十二年） 三三〇号 解題・高良倉吉

四 大島より送参候漂着唐人滞在中日記 223

（乾隆七年） 三六七号 解題・糸数兼治

五 朝鮮人十人国頭間切安田村の漂着二付送届候日記 297

（乾隆五十九年） 八〇〇号 解題・糸数兼治

六年中各月日記 361

(道光二十四年) 一三二五号 解題・高良倉吉

七 案 書 373

(道光二十四年) 一三二七号 解題・高良倉吉

八 卯秋走接貢船帰帆改日記 425

(道光二十四年) 一三三五号 解題・西里喜行

九 進貢船仕出日記 489

(道光二十四年) 一三三六号 解題・西里喜行

十 玉城間切奥武村と唐船漂着如泊那霸乘廻本船と致帰帆候日記 569

(道光二十四年) 一三三七号 解題・糸数兼治

編集日誌 (613)

編集委員紹介および第一巻執筆担当 (616)

編集後記 (617)

『琉球王国評定所文書』第二巻 一九八九年一月三一日発刊

〔巻頭論考〕 「仏船来琉事件」の概要と研究史 島尻克美 (六)

一	従大和下状	1
	(道光二十四～二十五年)	一三三八号	解題・池宮正治
二	案書	37
	(道光二十五年)	一三四一号	解題・里井洋一
三	御状案書	203
	(道光二十一～二十五年)	一三四二号	解題・小野まさ子
四	辰秋走進貢船帰帆	237
	(道光二十五年)	一三四六号	解題・糸数兼治
五	従大和下状	257
	(道光二十五～二十六年)	一三四七号	解題・梅木哲人
六	廻文	311
	(道光二十四～二十六年)	一三七九号	解題・玉木順彦
七	進貢船仕出日記	329
	(道光二十六年)	一三八〇号	解題・西里喜行
八	従大和下状	403
	(道光二十六～二十七年)	一三八一号	解題・梅木哲人
九	年中各月日記	483
	(道光二十七年)	一三八二号	解題・高良倉吉

十 産物方日記

(道光二十六〜二十七年) 一三八四号 解題・高良倉吉

十一 案書

(道光二十七年) 一三八五号 解題・小野まさ子

十二 訴訟写

(道光二十六〜二十七年) 一三八六号 解題・小野まさ子

十三 標題のみ(六六)

編集日誌(590)

編集委員紹介および第二卷執筆担当(591)

『琉球王国評定所文書』第三卷 一九八九年三月二〇日発刊

〔巻頭論考〕 琉球の対清外交について

— 雍正・乾隆期の一貢免除問題を中心に — 豊見山和行(六)

一 案書

(道光二十七年) 一三八七号 解題・大城康洋

二 啖人來着日記

(道光二十六〜二十七年) 一三八八号 解題・金城 功

三	喚人来着日記	191
	(道光二十七年)	一三八九号	解題・田里 修
四	喚人来着日記	301
	(道光二十七年)	一三九〇号	解題・島尻克美
五	接貢船仕出日記	371
	(道光二十七年)	一三九三号	解題・糸数兼治
六	従大和下状	381
	(道光二十七八年)	一三九四号	解題・伊敷勝美
七	年中各月日記	423
	(道光二十八年)	一三九五号	解題・恩河 尚
八	標題のみ(十点)	473
	編集日誌(478)		
	編集委員紹介および第二巻執筆担当(479)		
	「琉球王国評定所文書」第四巻	一九九〇年三月二〇日発刊	
	〔巻頭論考〕 評定所の機構と評定所文書	梅木哲人(六)	
一	案 書	1
	(道光二十八年)	一三九六号	解題・里井洋一

二	案書 異国一件御内分	39
	(道光二十八年) 一三九七号	解題・恩河 尚	
三	仏朗西人来着日記	133
	(道光二十七八(二十八年)) 一三九八号	解題・真栄平房昭	
四	嘆人逗留付那覇二の日記	235
	(道光二十八年) 一四〇〇号	解題・玉木順彦	
五	嘆人逗留付那覇二の日記	299
	(道光二十八年) 一四〇一号	解題・島尻克美	
六	未秋走接貢船帰帆日記	341
	(道光二十八年) 一四〇五号	解題・西里喜行	
七	申秋走接貢船両艘仕出	353
	(道光二十八年) 一四〇六号	解題・西里喜行	
八	嘆国船久米島沖干瀬を走揚助船被御遣候付日記	363
	(道光二十九年) 一四〇七号	解題・田里 修	
九	嘆国船来着日記 但久米島沖を走揚船迎船	455
	(道光二十九年) 一四〇八号	解題・小野まさ子	
十	標題のみ(六六)	481

編集委員紹介および第四卷執筆担当(486)

『琉球王国評定所文書』第五卷 一九九〇年三月二〇日発刊

〔巻頭論考〕 琉球使節の解体 紙屋敦之（八）

一 暎船来着日記 1

（道光二十九年） 一四〇九号 解題・池宮正治

二 暎人逗留ニ付那覇ニゐる之日記 41

（道光二十九年） 一四一〇号 解題・金城 功

三 暎人逗留ニ付那覇ニゐる之日記 101

（道光二十九年） 一四一三号 解題・平良勝保

四 申進貢船帰帆改日記 157

（道光二十九年） 一四一五号 解題・西里喜行

五 従大和下状 173

（道光二十八、二十九年） 一四一六号 解題・豊見山和行

六 年中各月日記 219

（道光二十九年） 一四一七号 解題・小野まさ子

七 従大和下状 253

（道光二十九、三十年） 一四四一号 解題・田名真之

八	從大和下状写 御状	275
	(道光三十年) 一四四二号	解題・田名真之	
九	年中各月日記 (帳当座)	287
	(道光三十年) 一四四四号	解題・真栄平房昭	
十	從大和下状	309
	(道光三十年) 一四四七号	解題・豊見山和行	
十一	日記総目録	329
	(道光二十九、三十年) 一四四八号	解題・高良倉吉	
十二	案 書	365
	(道光三十年) 一四四九号	解題・里井宏美	
十三	從大和下状	381
	(咸豐元、二年) 一四五五号	解題・小野まさ子	
十四	年中各月日記	399
	(咸豐元年) 一四五六号	解題・豊見山和行	
十五	年中各月日記 (帳当座)	421
	(咸豐元年) 一四五七号	解題・高良倉吉	
十六	案 書	441
	(咸豐元年) 一四五八号	解題・里井洋一	

十七	暎国火輪船来着日記 (咸豊元年) 一四六〇号	解題・大城康洋	457
十八	熱麼呢船那霸冲来着日記 (咸豊元年) 一四六六号	解題・糸数兼治	515
十九	年中各月日記 (咸豊二年) 一四六九号	解題・伊敷勝美	555
二十	標題のみ(二二点) 編集委員および第五卷執筆担当(590)		581
	『琉球王国評定所文書』第六卷 一九九一年三月二六日発行		
	〔巻頭論考〕 一七世紀末期における琉球国の動向 上原兼善(六)		
一	一年中各月日記(帳当座) (咸豊二年) 一四七〇号	解題・田里 修	1
二	案書 (咸豊二年) 一四七一号	解題・池宮正治	27
三	嘆人より差出候文及嘆人の差遣候文之大意 (咸豊元々二年) 一四七三号	解題・田名真之	49

四 天草人漂着日記

(咸豊二、三年) 一四八一号 解題・恩河 尚

165

五 従大和下状

(咸豊二、三年) 一四八六号 解題・島尻克美

221

六 案書

(咸豊三年) 一四八七号 解題・小野まさ子

257

七 八重山島と異国船来着唐人・嘆人等下置候付一卷帳

(咸豊二、四年) 一四九八号 解題・西里喜行

339

八 八重山島と嘆船より卸置候唐人等一件付渡海之御使者日記

(咸豊三年) 一五〇〇号 解題・豊見山和行

497

九 標題のみ(二二点)

編集委員会紹介及び第六卷執筆担当(548)

539

『琉球王国評定所文書』第七卷 一九九二年三月二六日発行

〔巻頭論考〕 英宣教師ベッテルハイムの琉球観 照屋善彦(六)

一 亜船来着ニ付那覇ニある之日記

(咸豊三年) 一五〇一号 解題・高良倉吉

1

二 亞米利加国船来着亞人天久寺の止宿ニ付泊ニ其之日記

..... 103

(咸豊三年) 一五〇二号 解題・金城 功

三 亞船来着并天久寺止宿之亞人唐人等日記

..... 265

(咸豊三年) 一五〇三号 解題・糸数兼治

(一五〇四号)

四 亞人成行御国許の御届之扣

..... 443

一五〇五号 解題・里井洋一

亞人成行御国許の御届之扣 (咸豊三年)

亞人成行守衛方の御届申上候写 (咸豊四年)

五 標題のみ (四点)

..... 629

編集委員会紹介及び第七卷執筆担当 (632)

『琉球王国評定所文書』第八卷 一九九二年三月二五日発刊

〔巻頭論考〕 多良間往復文書控にみる近世末期の島嶼行政の文書送受状況 高良倉吉 (一)

一 子秋走進貢船帰帆日記 1

(咸豊三年) 一五一〇号 解題・糸数兼治

二 年中各月日記 63

(咸豊四年) 一五一一号 解題・豊見山和行

三 案 書

(咸豐四年) 一五二二号 解題・小野まさ子

四 亜人來着ニ付日記

(咸豐三々四年) 一五二三号 解題・里井洋一

編集委員会紹介及び第八卷執筆担当 (509)

『琉球王国評定所文書』第九卷 一九九三年三月二六日発行

〔卷頭論考〕 翁長親方八重山島規模帳について

― 檢使派遣と規模帳の成立 ― 新城敏男 (六)

一 亜船來着日記

(咸豐四年) 一五二四号 解題・田名真之

二 魯西亞国船來着那覇ニ之日記

(咸豐四年) 一五二八号 解題・西里喜行

三 亜船來着ニ付那覇ニ之日記

(咸豐四年) 一五二九号 解題・池宮正治

四 従大和下状

(咸豐四々五年) 一五二二号 解題・小野まさ子

五	年中各月日記	427
	(咸豊五年)	一五二六号	解題・小野まさ子
六	標題のみ(六件)	685
	編集委員会及び第九卷執筆担当紹介(690)		
	『琉球王国評定所文書』第十卷	一九九四年三月一八日発行	
	〔巻頭論考〕 近世奄美船の砂糖樽交易と漂着	弓削政己(六)	
一	従大和下状	1
	(咸豊元々五年)	一五二三号	解題・豊見山和行
二	御状案書	51
	(咸豊元々五年)	一五二四号	解題・高良倉吉
三	従大和下状	401
	(咸豊五々六年)	一五二七号	解題・仲地哲夫
	編集委員会紹介及び第十卷執筆担当(653)		

『琉球王国評定所文書』第十一卷 一九九五年三月二八日発刊

〔巻頭論考〕 ロバート・バウン号事件再考

— 東アジア国際秩序再編の一契機として 西里喜行 (六)

一 仏船来着并仏人逗留付ゐる之日記 1

(咸豊五年) 一五三三号 解題・里井洋一

二 仏船三艘来着付那覇ニゐる之日記 101

(咸豊五年) 一五三四号 解題・田名真之

三 仏船来着成行守衛方々御届申上候扣 173

(咸豊五年) 一五三五号 解題・豊見山和行

四 年中各月日記 229

(咸豊六年) 一五四〇号 解題・高良倉吉

五 標題のみ (八件) 513

編集委員会及び第十一巻執筆担当紹介 (518)

『琉球王国評定所文書』第十二卷 一九九六年三月二五日発刊

〔巻頭論考〕 琉球の海外情報からみた東アジア 真栄平房昭 (五)

一 年中各月日記 (帳当座) 1

(咸豊六年) 一五四一号 解題・金城 功

二 案 書	313
(咸豊六年) 一五四二号	解題・徳元 剛	
三 異国御用掛日記	331
(咸豊六年) 一五四七号	解題・恩河 尚	
四 亜船来着ニ付守衛方御届申上候写	453
(咸豊六年) 一五四八号	解題・西里喜行	
五 標題のみ(五件)	465
編集委員会及び第十二巻執筆担当紹介(470)		
『琉球王国評定所文書』第十三巻 一九九七年三月二五日発刊		
〔巻頭論考〕 歴史と説話の間―語られる歴史 池宮正治(五)		
一 仏船来着并仏人逗留ニ付泊ニ之日記	1
(咸豊五、六年) 一五五〇号	解題・仲地哲夫	
二 仏人逗留ニ付那覇ニ之日記	109
(咸豊六年) 一五五一号	解題・田名真之	
三 仏蘭西船来着那覇ニ之日記	135
(咸豊六年) 一五五二号	解題・田里 修	

四 仏船来着ニ付守衛方御届申上候扣 177

(咸豊六年) 一五五三号 解題・豊見山和行

五 鳥島より送来候漂着朝鮮人介抱日記 197

(咸豊六年) 一五五四号 解題・高良倉吉

六 従大和下状 253

(咸豊六、七年) 一五五七号 解題・里井洋一

七 標題のみ(四件) 499

編集委員会及び第十三巻執筆担当紹介(502)

『琉球王国評定所文書』第十四巻 一九九八年三月二五日発刊

〔巻頭論考〕 王府の異国船迎接体制―総理官を中心に― 田名真之(五)

一 年中各月日記 1

(咸豊七年) 一五五八号 解題・池宮正治

二 仏人逗留ニ付那覇ニ於之日記 27

(咸豊七年) 一五六四号 解題・島尻克美

三 仏朗西船来着之時成行守衛方御届申上候写 133

(咸豊八年) 一五七二号 解題・西里喜行

四	和蘭国船運天津に到着之筈ニ付諸手組向日記 (咸豊八年) 一五七三号 解題・恩河 尚	145
五	従大和下状 (咸豊六、九年) 一五七八号 解題・徳元 剛	191
六	例 抜 (咸豊九年) 一五八二号 解題・仲地哲夫	479
七	標題のみ(二件) 編集委員会及び第十四巻執筆担当紹介(534)	531
	『琉球王国評定所文書』第十五巻 二〇〇〇年三月二五日発行 〔巻頭論考〕 近世琉球の社会と民衆 田里 修(五)	
一	奥州人七人宮古島に漂着破船那覇に送来候ニ付介抱日記 (咸豊九年) 一五八七号 解題・高良倉吉	1
二	仏人逗留ニ付那覇ニある之日記 (咸豊十年) 一五九八号 解題・島尻克美	37
三	日記総目録 (咸豊元、十一年) 一六〇五号 解題・小野まさ子	181

四 産物方日記 345

(咸豐十一年) 一六〇六号 解題・仲地哲夫

五 両先島在番往復 391

(同治四八年) 一六八六号 解題・小野まさ子

六 標題のみ(一件) 511

編集委員会及び第十五卷執筆担当紹介(512)

『琉球王国評定所文書』第十六卷 二〇〇〇年三月二五日発刊

〔巻頭論考〕 福州琉球館の構造と改修 深澤秋人(五)

一 産物方日記 1

(同治七八年) 一六八七号 解題・豊見山和行

二 案書 81

(同治八年) 一六八八号 解題・恩河 尚

三 産物御用掛方日記 259

(同治八年) 一六八九号 解題・仲地哲夫

四 従大和下状 295

(同治四光緒五年) 一七二三号 解題・里井洋一

五	日本他領之船漂着之時御用帳 (雍正元〜十三年) 一七七〇号	解題・深澤秋人	555
六	標題のみ(一件) 編集委員会及び第十六卷執筆担当紹介(594)		591
	『琉球王国評定所文書』第十七卷 二〇〇一年三月二七日発刊		
	〔巻頭論考〕 一九世紀の首里上流士族の家と女性 ―伊江親方日々記を中心として―	小野まさ子(七)	
一	伯徳令關係並びにペリー艦隊關係漢文往復文書 (咸豐元〜四年) 一八〇四号	解題・西里喜行	1
二	案書 (咸豐五年) 一八〇五号	解題・田里修	57
三	廻文 (咸豐五〜六年) 一八〇六号	解題・深澤秋人	233
四	諸外国ト琉球ト条約并往復書類 (道光三十〜咸豐六年) 一八〇七号	解題・田名真之	307

五 異国人の返答之心得 321

(道光二十八年) 一九二一号 解題・高良倉吉

六 亞国大火輪船来着書類 335

(咸豐三丁四年) 一九二三号 解題・徳元 剛

七 異国一件館内并御仮屋方往復之書付写 385

(咸豐四年) 一九二四号 解題・豊見山和行

八 異国一件書類(標題欠) 411

(咸豐三年) 一九二五号 解題・漢那敬子

九 喚人一件書類(標題欠) 449

(道光二十八年) 一九二六号 解題・徳元 剛

編集委員会および第十七卷執筆担当 (486)

『琉球王国評定所文書』第十八卷 二〇〇一年三月二五日発刊

〔巻頭論考〕近世琉球におけるウコン専売制の起源と展開

— 夫役がささえるウコン経営 — 里井洋一 (七)

一 仏朗西人ヨリ商売方和好且通事二人相残候儀其外申出候条々ノ大意 1

一九三二号 解題・上江洲安亨

二	亜船一件書類(標題欠)	55
	(咸豐四年) 一九三三号	解題・栗野慎一郎	
三	仏人一件書類(標題欠)	139
	(道光二十四年) 一九三四号	解題・島尻克美	
四	仏人一件書類(標題欠)	179
	(道光二十四年) 一九三五号	解題・上江洲安亨	
五	亜人一件書類(標題欠)	251
	(咸豐三年) 一九三六号	解題・恩河 尚	
六	中山ヨリ上表・康熙皇帝ヨリ勅諭書翰和解(五冊)	261
	(康熙四十七、四十九年) 一九三八号	解題・池宮正治	
七	琉球国中山世鑑 共六冊	293
	一九五〇号	解題・池宮正治	
八	補遺(袋入四冊)	307
	一九五二号	解題・仲地哲夫	
九	漢文外国一件書類	331
	(道光二十四、咸豐七年) 丙七号	解題・糸数兼治	

編集委員会及び第十八卷執筆担当紹介(450)

『琉球王国評定所文書』補遺別巻 二〇〇二年一月三十一日発行

〔巻頭論考〕近世琉球における対「異国船漂着」体制

— 中国人・朝鮮人・出所不明の異国人の漂着に備えて — 渡辺美季 (五)

一 逗留英人成行守衛方御届申上候写 1

(咸豊三、四年) 一五一五号 解題・金城 功

二 英人逗留ニ付那覇ニゐ之日記 131

(咸豊四年) 一五一六号 解題・田名真之

三 英人逗留ニ付那覇ニゐ之日記 215

(咸豊四年) 一五一七号 解題・西里喜行

四 魯西亞国船来着那覇ニゐ之日記 291

(咸豊四年) 一五一八号 解題・高良倉吉

『琉球王国評定所文書』全巻総目次 (321)

『琉球王国評定所文書』刊行事業年譜 (347)

『琉球王国評定所文書』(全十九巻)の編集を了えて 編集委員長 西里喜行 (372)

編集後記 編集事務局 (378)

編集委員会及び補遺別巻執筆担当紹介 (383)

全卷總目次

簡易索引 (i)

重要語句初出一覽 (ii)

文書作成年一覽 (xix)

*記述は各巻目次の表記に拠る。但し、校正上のミス・明白な誤字は適宜改めた。

